

レッスン進行ガイド

導入する ⑤ 5分

導入として、ハチやチョウについて知っていることを児童に尋ねます。新しい公園が作られることになり、その近くにいるハチやチョウのくらしが変わるかもしれないというお話で関心を引きつけます。

お花の友だち

ハチやチョウが大切な理由を考える。
課題を解決する方法を考え、作る事ができる。
人間の活動によって、生きもののくらしがどう変わってしまっているかを考える。

人間の活動が、身近な自然にいる生きもののくらしに与える影響を減らすための解決方法を作り出す。

お花の友だち

ハチやチョウとくらしにどう関係があるかを考える。

おうちの近くに新しい公園ができるんだ！わーい！うれしいな。
でも、そこにくらしているハチやチョウはどうなるのかな？

0 | 学習目標

このレッスンの目的と学習目標を説明します。

1 | はじめに

ハチやチョウについて、どんなことを知っているかな？と問いかけます。次のようなヒントを出して、答えを引き出すと良いでしょう。

- ハチやチョウはどこにどこにいるかな？
- 学校やおうちでハチやチョウを見たことある？それはどんなハチやチョウだった？
- ハチやチョウとくらしにどう関係があるかな？

2 | 背景情報

砂場や砂浜で何かを作ったり、庭に草花を植えたりしたことがあるか児童に尋ねます。

- 何かを作ったり草花を植えたりする前に何をしたかな？(答えの例: 砂や土を掘る)
- その地面の砂や土はどうなったかな？(答えの例: もとの場所から動かされた)
- その近くにもとから草花があったら、それはどうなったかな？(答えの例: その草花もくらしに動かされたか、土がかかったりした)
- もし、そこにハチやチョウがいたら、どうなったかな？(答えの例: もしかすると、新しいすみかが必要になったかもしれない)

公園ができることでその場所の自然や生きもののくらしが変わることを、自分の経験に結びつけて考えるのが難しい場合、次のように導くと良いでしょう。

- 公園ができる前とできた後の写真を児童に見せます。
- このレッスンのお話で公園が作られる場所は、たくさんの草木や花があり、ハチやチョウなどいろいろな虫がいる自然いっぱいの場所だという設定を詳しく話します。

探究する ⑤ 10分

4人グループを作って、ハチ1匹、チョウ1匹、花2本を組み立てます。ハチとチョウになったつもりで花のまわりを飛び回り、花粉を運ぶごっこ遊びをします。

組み立てるもの:

- ハチ (1匹)
- チョウ (1匹)
- 花 (2本)

ハチやチョウになったつもりで花のまわりをまわって、花粉を運ぶごっこ遊びをしよう。

3 | グループと役割

児童を4人グループに分けます。青・赤・緑・黄のLEGOミニフィギュアを使って、1人ずつの役割を分担します。ミニフィギュアの色によって、自分がモデルのどの部分の組み立てを担当するのかがわかります。組み立て説明書に、青・赤・緑・黄のLEGOミニフィギュアアイコンが示されています。

4 | 組み立てと探究

組み立てが終わったグループは、みんなくらしにハチとチョウになったつもりで花のまわりを飛び回ったり、花のそばに近寄ったりするごっこ遊びをするように促します。知識のある児童は、ハチやチョウを花に止まらせたり、花から花へ花粉を運んだりするようなごっこ遊びをする可能性もあります。この機会を捉えて、どうして虫は花に止まるのかなと問いかけることもできます。

組み立て説明書

A107

説明する ⑤ 5分

ハチやチョウが大切な理由と、新しい公園ができるとハチやチョウのくらしがどんなふうになるかを話し合います。

ハチやチョウが、そのくらしに大切な理由を、どのようにしてか？新しい公園ができたら、ハチやチョウのくらしがかわってしまうかな？くらしにどう関係があるかな？くらしにどう関係があるかな？

5 | 発表

必要に応じて「花粉を運ぶ生きもの」のことや、それが生態系で大切な役割を果たしていることを紹介したり、復習したりしてください。新しい公園ができると、その場所がどのように変わり、そこにいるハチやチョウのくらしがどう変わるのかを考えるよう促します。公園はとても楽しく、私たちのくらしに必要な場所ですが、公園になる前からそこにいた生きものたちのくらしも考えなければいけないことを児童に伝えます。また、ハチが人を刺す可能性を指摘し、ハチが公園でくらすようにしつつも、遊ぶ人が刺されないようにする工夫も必要であることを話してください。

発展する ⑤ 15分

新しい公園ができてもハチやチョウのくらしを守ることができる方法を示すモデルを組み立てます。組み立てたモデルを発表し、人間がたくさんいる地域に昆虫が住みやすくなる工夫を写真で見て、レッスンの体験との共通点や相違点を探ります。

ハチやチョウがくまっています！
花ふんを花から花へはくばるためにくまっています。
新しい公園ができたら、ハチやチョウがくまっています。
くまっています。

6 | 組み立て

グループで組み立てを始める前に、児童とくらしに自由にアイデアを出し合ったりリストを作ると良いでしょう。組み立てが早く終わったグループには、別の工夫も組み立ててみようかと促してください。組み立ての例:

- たくさんのハチやチョウに会えるためのたくさんの花
- 虫たちがくまう中で安全にくまう昆虫ホテル
- 公園のとなりのお花畑エリア

ハチやチョウのくらしをまもるためにどんなものを組み立てたかな？
どんなくまうかは、みんなにしてみよう。

7 | モデルを発表しよう

理解度チェック項目:

- ハチやチョウが、その場所で大切な役割を果たしている理由を説明できましたか？
- 人間の活動が、その場所にいるハチやチョウのくらしに与える影響を減らすための方法を工夫したモデルを組み立てられましたか？
- 自分たちが作ったモデルが、ハチやチョウのくらしにどう役立つのかを説明できましたか？

野の花や昆虫ホテルは、人間が生活するのと同じく、生きもののくらしに大切な場所です。

8 | 本物を見てみよう

野の花や昆虫ホテルが、生きもののくらしにどのように役立っているかを話しましょう。自分たちが作ったモデルと、実際に使われているものの写真を見比べて、似ている点や違う点を指摘するよう促します。

評価する ⑤ 5分

振り返りの発展課題では、身近な自然に昆虫が住みやすくなる工夫を絵に描きます。

学校やおうちのまわりで、昆虫たちがくまうやすくなる工夫を考えて、絵をかこう。

9 | わかったことをまとめよう

各自の能力に合わせて、短い文章でまとめたり、絵で表したり、絵と文章を組み合わせてたりして学んだ内容をまとめさせると良いでしょう。

LEGO education

かたづけタイム!

10 | かたづけタイム!